

やまがたの森づくり発表会



進めよう！ 県民参加の森づくり

作成日
2025年12月4日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

どこに行っても、誰と会っても、クマの話題になってしまう今日この頃ですが、森づくり活動にかかわる皆さんにとっても、やはり非常に関心の高い問題なんだなということを改めて感じた一日となりました。活動を支援する側の私たちとしても、その点を意識して対応していきたいと思います。（担当U）



総勢79名が参加



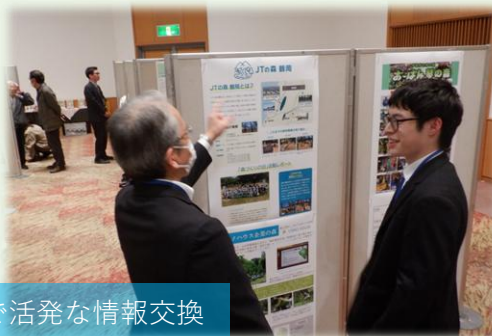
ポスター展示



蔵王山岳インストラクター 山口勝美さん



会場のあちらこちらで活発な情報交換



11月20日（木）、山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」にて、やまがたの森づくり発表会が開催されました。この発表会は「やまがた緑環境税」を活用して森づくり活動を行っている団体・市町村・企業の方や、これから取り組みたい方などが集まり、県民参加の森づくり活動の更なる推進を図るため、毎年開かれています。

基調講演では、蔵王山岳インストラクターの山口勝美さんから「蔵王山の樹氷復活に向けて」と題してお話しいただきました。樹氷をつくるオオシラビソ（アオモリトドマツ）が集団枯損した頃の状況や、復活に向けては「母樹」の育成が最も重要であることなど、詳しく教えていただきました。

後半は、里山の樹木や、出没が急増しているクマの生息などにも話題が及びました。山岳ガイドだけでなくハンターでもある山口さんの、豊富な観察や経験にもとづくお話は具体的でわかりやすく、参加された皆さんは興味深く聞き入っていました。

会場後方には、主に令和6年度の活動状況について、各団体・市町村・企業のポスターを掲示しました。講演後にはポスターセッションとして、出席団体の方から説明者としてポスター前にお立ちいただき、参加者との意見交換を行う時間を設けました。

助成事業紹介では、県みどり自然課の担当者より、令和8年度のやまがた緑環境税による事業募集について説明がありました。

【参加した方の感想】

- ・蔵王の樹氷やクマ撃ちに直接関わっている方から詳しい話を聞けてよかった。
- ・多くの人と意見交換ができて良かった。

- ・様々な活動をしている団体があること、森を媒体とした多様な活動を知ることができた。
- ・クマ対策について考え直すきっかけとなった。
- ・以前行われていた優秀活動例のステージ発表を望みたい。